

### オランダ女子柔道チーム 事前トレーニングキャンプ

8月25日～9月1日に行われる世界柔道選手権に出場するため、オランダ女子柔道チームが事前トレーニングキャンプを行います。

期間 **8月19日(月)～25日(日)**

場所 **淑徳大学埼玉キャンパス**

オランダ選手との交流イベントは、詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。


### 永田裕幸選手と車いすバスケを体験 パラアスリート講演会

三芳町在住で、リオデジャネイロ2016パラリンピックの車いすバスケットボール日本代表の永田裕幸選手による講演会です。

日時 **8月10日(土) 13:30～15:30**

場所 **三芳町総合体育館 研修室**

申込み 三芳町総合体育館へ電話・窓口で申し込み。(☎049-258-0311)

 **オランダ応援サポーター募集中!** 詳細はP20へ。

振り返る  
1964年

### オランダ選手の柔道に衝撃

当時私は16歳。家業を手伝いながら、テレビの前で夢中になってオリンピックを観ていました。印象に残っているのは、柔道。題材にしたドラマが放送される程人気があった柔道の無差別級決勝戦で、身長198cm・体重120kgもあるオランダ選手が日本人選手を押え込んで圧倒。私も小中学校で柔道をしてきたこともあり、その迫力に衝撃を受けたことを覚えています。当時の三芳町は、畑が広がる田舎の風景から住宅がどんどん建ち始めた時期。「トカイナカ」の礎ができたのは、この頃かもしれないですね。

三芳中学校初代柔道部  
**浅沼 健一さん**



①オランダ女子柔道チームとの住民交流会。町内の柔道キッズも参加し、交流を深めました。②学校を訪れ、一緒に給食を食べるオランダ選手。③合同練習でコーチに指導を受けている様子。

を続けてきたことが評価され、2018年4月、オランダのホストタウンに登録されました。**日本代表と同じようにオランダを応援**  
オランダ女子柔道チームが淑徳大学へトレーニングキャンプに訪れる時には、住民交流会や合同練習を実施。一方、オリンピックアード給食と題してオランダ選手が小中学校を訪れ、児童や生徒と一緒に給食を食べるなど、オランダを少しでも身近に感じることができる交流事業を進めています。  
町ではこのように、オランダ

の選手やコーチとの交流を重ねてきました。子どもからお年寄りまで、オランダの風土や文化を肌で感じることで次第に愛着が湧き、オリンピック・パラリンピックで自然とオランダチームを応援する――。  
これまでオリンピック・パラリンピックで自国の選手の外に外国の選手を熱心に応援するということは、あまり体験したこととはなかったのではないのでしょうか。  
そして、外国との交流を深め、身近なものとなることは、国境を越えた「友愛」。オリンピックの理想の一つと言え換えるこ

とができます。  
**町とオランダが交流**  
55年前にはなかったホストタウンという取り組み。外国の文化に触れてお互いに交流し合うことができれば、来年のオリンピック・パラリンピックで競技観戦以外に新たな楽しみ方が見つかるかもしれません。  
東京2020大会に向けて、三芳町ではオランダを肌で感じることができるようイベントをたくさん予定しています。参加して、より外国を、オリンピック・パラリンピックを身近に感じてみてはいかがでしょうか。■



①1967年の埼玉国体で、町内を通過する旗リレーの様子。84人の町民ランナーが力強く駆け抜けました。②東京1964大会の4年前に撮影された町内を通る川越街道の松並木。



**今** から55年前――。三芳町の前身、三芳村だった1964年(昭和39)年に開催された東京オリンピックには、93の国と地域から5千人を超える代表選手たちが参加しました。  
この大会の聖火は、ギリシヤから沖繩へ到着後、全国47都道府県の4つのコースをリレー。

埼玉県では、国道17号(主に旧道)の68区間を1,564人のランナーが走行していました。東京都で1つになった聖火は、10万713人目の最終ランナーによって国立競技場の聖火台に灯されました。  
**テレビに釘付け**  
東京1964大会の実施競技のうち、埼玉県内で実施されたのは、サッカー、ボート、クレール射撃、近代五種の4種目。比較的近かった所沢のクレール射撃会場(現所沢おおぞら特別支援学校)へは、三芳村からも観戦に行く人がいたといわれています。しかし、ほとんどの人はテレビの前で釘付けになって、選手を応援していました。

この大会で、日本は金メダル16個を含む計29個のメダルを獲得。輝かしい成績を残して、東京1964大会は幕を閉じました。  
そして、時は流れて55年――。再び開催される東京でのオリンピック、そしてパラリンピック。埼玉県では、ゴルフ、バスケットボール、サッカー、射撃が行われます。東京1964大会当時とは比べ物にならないほど交通手段が発達した現代では、気軽に会場へ足を運ぶことができ、競技が身近なものになりました。

### 広報紙で振り返る、東京1964大会

#### ■「国境のない友情で接しよう」

1964(昭和39)年10月号の広報みよしには、オリンピックを迎えるにあたっての心構えが掲載されています。日本という「家庭」でのパーティーに招待するようあなたたい気持ちで外国人を迎えよう。そして、オリンピックだけをクライマックスにせず、大会が終わっても外国の人に対する親切な心をずっと持ち続けていくことが大切だと書かれています。



# オリンピックでつながる 三芳町の「過去」と「今」

前回東京オリンピックが開催された1964年は、まだ村だった三芳。その当時は振り返りながら、オランダのホストタウンとなった三芳町のオリンピックへの想いを紐解いていきます。